

# 平成29年度公共牧場運営改善研修会のご案内

## - 公共牧場の経営改善のために -

( 技術・経営・意識の基本を見つめ直す )

### 〈 研修内容 〉

#### 1 公共牧場をムダなく使う集約的な放牧管理技術

慣行で行われている放牧技術の問題点と改善点を明らかにし、放牧技術の基本を話します。

講師: 梨木 守氏【(一社)日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー】

農林水産省の農業試験場等で主に放牧管理技術の研究に従事し、退官後は本会の放牧アドバイザーとして全国各地で放牧技術の現地指導や講演等を行っています。

#### 2 公共牧場の経営改善技術

施肥等の草地管理及び放牧技術の改善、経営管理の合理化等赤字経営を黒字経営にするためのノウハウを話します。

講師: 三宅英彰氏【浦幌町模範牧場指定管理者 (株)希興代表取締役】

浦幌町模範牧場長として赤字の浦幌町模範牧場を黒字に転換し、その黒字を一般会計へ繰り出すまでに経営改善した経験を活かした経営改善のポイントについてご講演いただきます。

#### 3 公共牧場を核にした地域活性化(意識改革による牧場経営の改善)

公共牧場の役職員の仕事に対する取組み姿勢の改善、民間感覚への意識改革等について話します。

講師: 中村哲雄氏【(一社)葛巻町畜産開発公社顧問】

公共牧場管理一筋に43年、人生の63%を公共牧場と共に歩まれ、地域の活性化と経営改善に取り組んでこられました。

#### 4 公共牧場の新たな活用方法 **〈 今年度の研修会からの新たなメニューです 〉**

公共牧場の新たな活用方法について、全国の取り組み事例等を紹介します。

講師: 梨木 守氏【公共牧場の新たな活用方法に関する検討会委員長】

### 〈 グループディスカッション 〉

受講者の牧場が抱える課題・問題点について受講者間で意見交換、情報交換を行い講師陣が課題解決のための処方箋を示します。

〈 研修を受けた牧場では、コスト低減等により経営改善した牧場が数多くあります。 〉

### 〈 受講者の声 〉

- 放牧の基本的な技術の実践とそれを行う実行力がどれ程大切なのかを学んだ。
- 企業精神、コスト削減、ムダの見直し、全て感銘を受けた。本当に良くしようと思う姿勢が欠けていた。
- 従来、間違った技術でどれほど無駄な経費を使っていたか認識させられた。反省あるのみ。
- 公共牧場を実際に管理された事のある先生方の話は三者三様で非常に分かりやすく、目から鱗が落ちた。
- グループディスカッションは、各牧場の良い点、改善が必要な点の検討を通して自らの牧場の改善点も把握でき大変参考になった。
- 従来の研修と異なり、もっと多くの人に聞いていただいて然るべき大変充実した内容でした。

日 時: 平成30年3月8日(木)13:00~9日(金)12:00

会 場: TKP神田駅前ビジネスセンター

住 所: 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1三井住友銀行神田駅前ビル 5F(事務所:5F) 電話:03-5298-2680

受講料: 無 料

お問い合わせ: (一社)日本草地畜産種子協会 東京都千代田区神田紺屋町8 アセンド神田紺屋町ビル4F

TEL03-3251-6501 Fax03-3251-6507 ( 担当:伊藤 )